都市の創造性を可視化する

創造都市INDEX

21大都市別調査分析レポート
熊本県熊本市版

CONTENTS

・創造都市INDEXとは
・創造性を示す10の指標
・開発方法
・21都市の創造性 - 熊本市 -
— 創造都市スコア 21都市ランキング
— 創造都市スコア 性・年代別
— 指標別ランキングTOP5
・熊本市の創造都市バランス
— 他都市との創造都市バランス比較
・創造性を高める都市インフラ
・創造性を高める市民ネットワーク
・その他 熊本市の特徴

社会の課題に、市民の創造力を。
issue + design

創造都市INDEXとは

issue＋designでは、ユネスコ・デザイン都市に認定されている神戸市と共に、市民の持つ創造力を活かし、地域・日本・世界が抱える様々な社会課題の解決に挑んでいます。活動を続ける中で浮かんだ、「市民の持つ創造力」とは何か？　それを高めるための工夫はできないか？　という疑問から、都市の創造性を可視化するための指標「創造都市INDEX」とその調査システムを開発。20の政令指定都市と東京23区で、8,800サンプルに向けた調査を実施しました。創造性の高い地域の特徴や各都市の創造性の特徴を分析し、都市の創造性を高める活動につなげていきたいと考えています。

創造性を示す10の指標

「創造都市INDEX」は、10の指標から構成されています。
10指標は「攻」の5指標、「守」の5指標があります。
「攻」「守」に優劣はありません。攻守の側面を知ることで、各都市の創造性やその特徴が見えてきます。

攻

新しいものに触れ挑戦する、
未来に向けて前向きな行動姿勢、価値観

チャレンジ　新しいこと、困難なことに挑戦するのが好きだ

異文化交流　市外、県外、外国人など他地域の人と交流するのが好きだ

独立心　人の目を気にせず自分のやりたいことをやる

芸術・文化　芸術、文化、美を大切に毎日を暮らしたい

遊び心　遊び心、ユーモアを大切に毎日を暮らしたい

守

古いもの、異なるものを尊重し、
自分、地域、社会に寄り添う行動姿勢、価値観

受容性　マイノリティ（性的少数者、少数民族、障がい者など）を、受け入れている

次世代育成　未来を担う子どもたちを育てる、役立つことをしたい

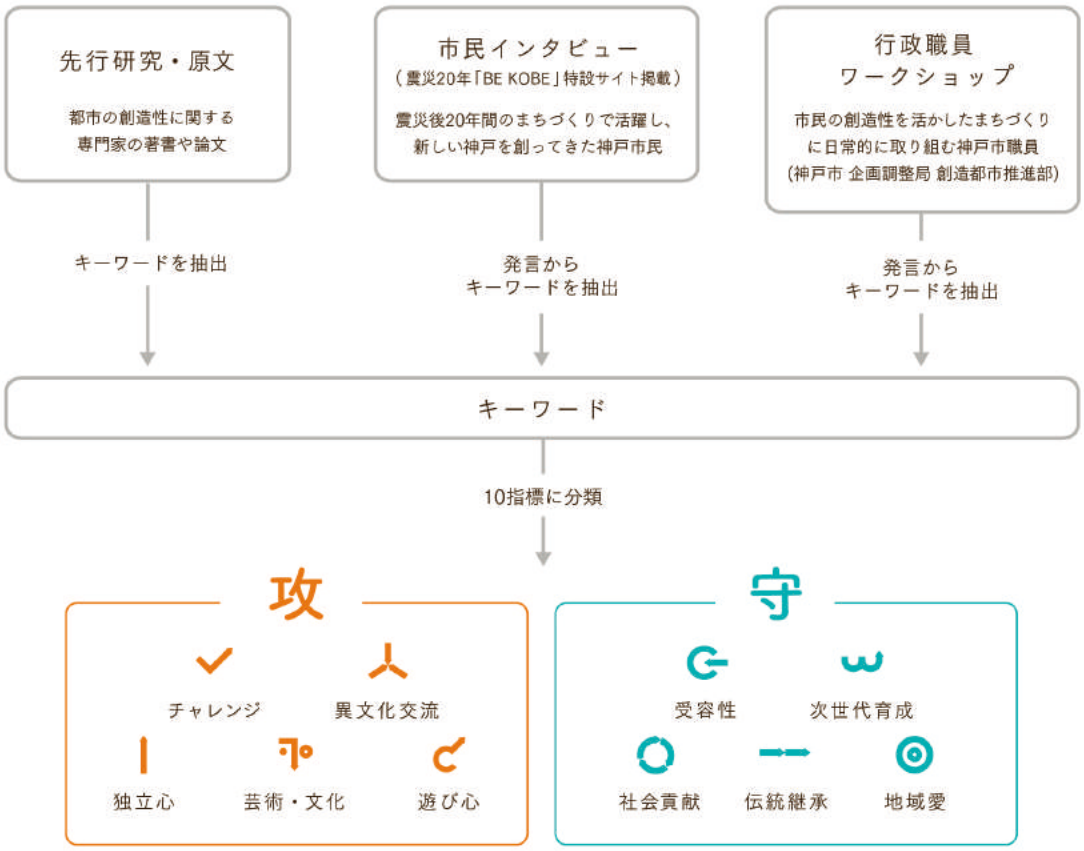
社会貢献　人のために、社会のために役立つことをしたい

伝統継承　昔から伝わる知恵、技術、文化を大切に毎日を暮らしたい

地域愛　自分が暮らしている地域が好きだ

一
開発方法

「創造都市INDEX」の作成にあたって、先行研究、神戸市と共同で行った市民インタビュー、ワークショップを実施しました。キーワードを抽出し、創造的な人材の持つ資質を10個に整理してアンケート調査により聴取可能な質問文を作成しました。



「創造都市INDEX」調査概要

調査期間	2015年12月4日～12月15日
調査方法	インターネット
調査対象者	政令都市20都市、または東京23区在住の20歳～64歳までの男女
対象地域	21都市 北海道札幌市、宮城県仙台市、東京23区、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、京都府京都市、兵庫県神戸市、広島県広島市、福岡県福岡市、神奈川県川崎市、千葉県千葉市、埼玉県さいたま市、新潟県新潟市、神奈川県相模原市、静岡県静岡市、静岡県浜松市、大阪府堺市、岡山県岡山市、福岡県北九州市、熊本県熊本市 ※現在の地域に3年以上お住まいの社会人（単身赴任者と学業専門の学生は除く）
サンプル数	8,800（神戸800、他20都市各400）男女比 1：1
年代別内訳	20-34歳（33.5％）、35-49歳（33.5％）、50～64歳（33.0％）

21都市の創造性
-熊本市-

創造都市スコア

熊本市は総合8位。創造性10指標のうち、強い指標は「次世代育成」「社会貢献」「独立心」でした。性別でみてみると、男性は21都市の平均を上回り、女性はほぼ平均という結果となりました。年代別では、 50-64歳の世代が最も高く、平均を大きく上回りました。

都市の創造性を高める都市インフラでは、「寺、神社、史跡などの歴史遺産（7位）」が最も高い結果となりました。日本三名城の「熊本城」が誇りであることがうかがえます。追って「ナイトスポットの質と量（10位）」が続きました。

熊本市のネットワークは「関係不足」。地域内、地域外を問わず、人間関係が不足している都市に位置します。特徴として、家族や親族のネットワーク数が高く、「総友人数」が少なめの傾向にあります。

今後の課題は、地元と地元外のネットワークも増やし、「受容性」と「伝統継承」も高めていくこと。低めの「異文化交流」「芸術・文化」も取り入れてみることがあげられます。

※今回の調査は、平成28年の熊本地震よりも前に実施したものです。

8位 熊本県熊本市 418.8

人口　73.9万人（推計人口 2017.1月現在）

面積　390.32㎡

歴史　肥後の国　熊本城の城下町から発展

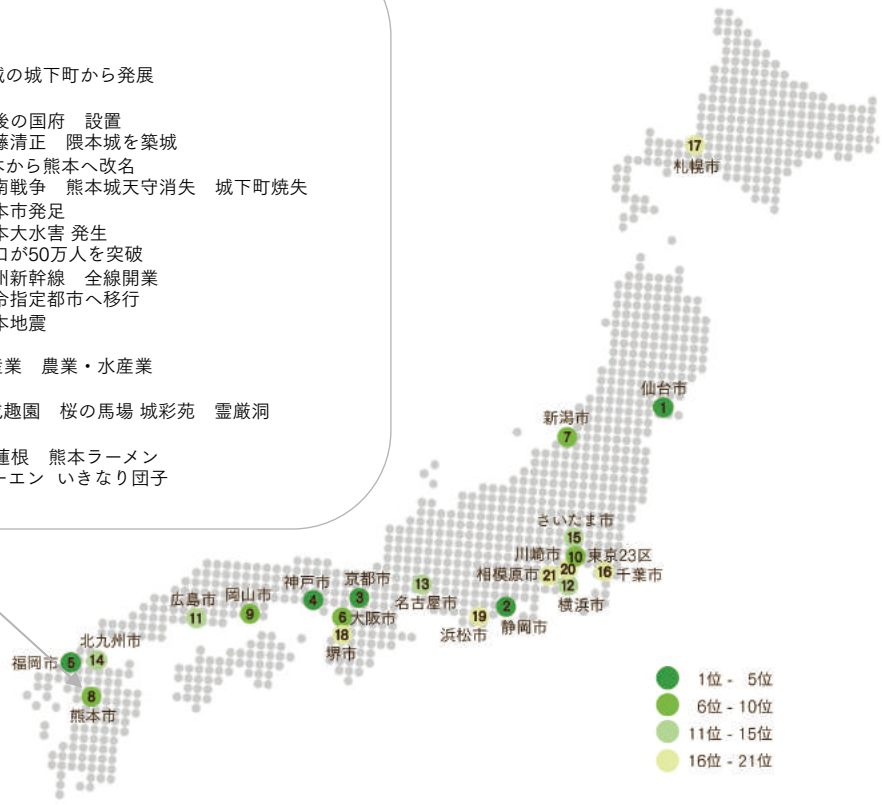
646年（大化2年）　肥後の国府　設置
1607年（慶長12年）加藤清正　隈本城を築城
　　隈本から熊本へ改名
1877年（明治10年）西南戦争　熊本城天守消失　城下町焼失
1889年（明治22年）熊本市発足
1953年（昭和28年）熊本大水害 発生
1977年（昭和52年）人口が50万人を突破
2011年（平成23年）九州新幹線　全線開業
2012年（平成24年）政令指定都市へ移行
2016年（平成28年）熊本地震

産業　サービス業　IC産業　農業・水産業

観光　熊本城　水前寺成趣園　桜の馬場 城彩苑　霊厳洞

食文化　馬刺し　からし蓮根　熊本ラーメン
　　だご汁　タイピーエン　いきなり団子

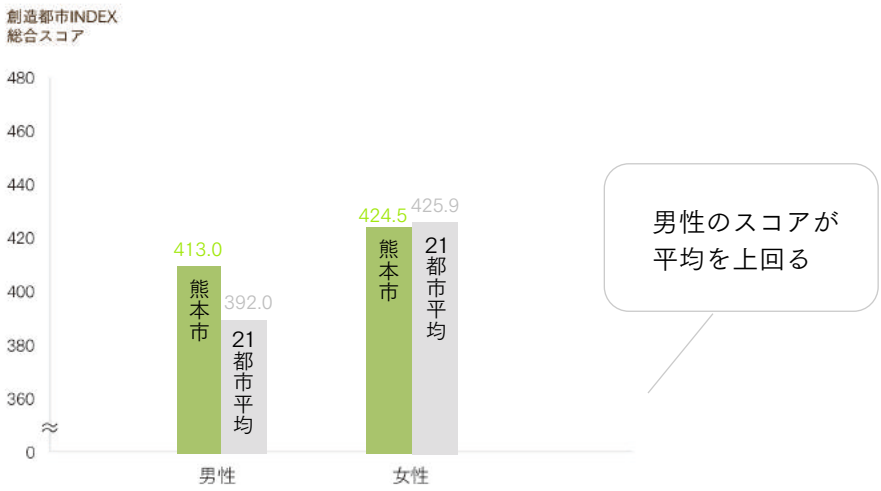
＊総合スコアの算出方法：
創造都市ＩＮＤＥＸ10の質問（1p参照）の5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のトップ2ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計パーセントを足し上げて算出。



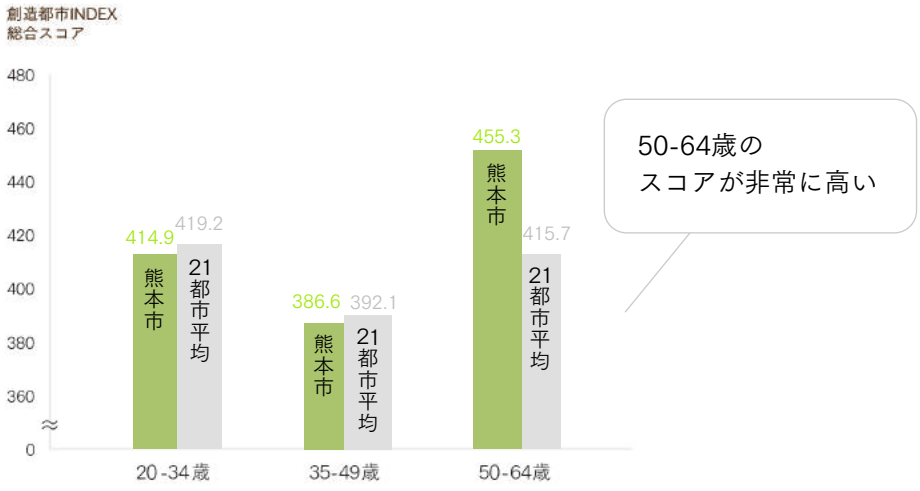
創造都市スコア
-性・年代別-

熊本市の創造都市スコアをみてみましょう。熊本市は、男性のスコアが21都市平均を21.0ポイント上回り、女性のスコアは、ほぼ21都市平均という結果でした。男性が創造都市スコアを牽引している都市といえるでしょう。
年代別での最も高いスコアは、50-64歳の世代でした。39.6ポイントと、平均を大幅に上回っています。他の20-34歳、35-49歳の世代はほぼ平均に近い結果でした。

性別



年代別



一
指標別ランキング TOP5

それぞれの都市の強みは「創造都市INDEX」10指標の中の、どの指標にあるでしょうか。順位の高い指標は、その都市の強みとなるものです。また順位が低い場合でも、都市の性格や特徴を知る上で参考になります。
熊本市の10指標のうち、ランキングが高い指標は「次世代育成（1位）」「社会貢献（3位）」「独立心（5位）」でした。一方、低めの指標は「芸術・文化（14位）」「受容性（14位）」「伝統継承（13位）」でした。

攻

チャレンジ
新しいこと、困難なことに挑戦するのが好きだ

1位	大阪府大阪市	33.5
2位	東京23区	32.3
3位	宮城県仙台市	31.0
3位	新潟県新潟市	31.0
5位	埼玉県さいたま市	29.8
5位	大阪府堺市	29.8
：		
7位	熊本県熊本市	29.3

異文化交流
市外、県外、外国人など他地域の人と交流するのが好きだ

1位	岡山県岡山市	29.8
2位	静岡県静岡市	29.0
3位	京都府京都市	28.8
4位	大阪府大阪市	28.0
4位	新潟県新潟市	28.0
：		
10位	熊本県熊本市	25.3

独立心
人の目を気にせず自分のやりたいことをやる

1位	京都府京都市	42.0
2位	東京23区	41.8
2位	神奈川県横浜市	41.8
4位	宮城県仙台市	41.3
5位	神奈川県相模原市	41.0
5位	熊本県熊本市	41.0

芸術・文化
芸術、文化、美を大切に毎日を暮らしたい

1位	兵庫県神戸市	45.3
2位	宮城県仙台市	44.8
3位	京都府京都市	44.3
4位	静岡県静岡市	43.0
5位	神奈川県横浜市	42.8
：		
14位	熊本県熊本市	39.5

遊び心
遊び心、ユーモアを大切に毎日を暮らしたい

1位	静岡県静岡市	68.3
2位	大阪府大阪市	65.5
3位	新潟県新潟市	65.0
4位	広島県広島市	64.0
5位	兵庫県神戸市	63.6
：		
10位	熊本県熊本市	62.0

守

受容性
マイノリティ（性的少数者少数民族、障がい者など）を受け入れている

1位	静岡県静岡市	32.8
2位	京都府京都市	32.0
2位	宮城県仙台市	32.0
4位	福岡県福岡市	30.5
5位	千葉県千葉市	29.8
5位	新潟県新潟市	29.8
：		
14位	熊本県熊本市	27.8

次世代育成
未来を担う子どもたちを育てる、役立つことをしたい

1位	熊本県熊本市	47.8
2位	福岡県福岡市	45.0
3位	宮城県仙台市	44.3
3位	岡山県岡山市	44.3
5位	京都府京都市	43.3

社会貢献
人のために、社会のために役立つことをしたい

1位	京都府京都市	43.8
2位	宮城県仙台市	43.3
3位	熊本県熊本市	42.5
4位	新潟県新潟市	40.8
4位	岡山県岡山市	40.8

伝統継承
昔から伝わる知恵、技術、文化を大切に毎日を暮らしたい

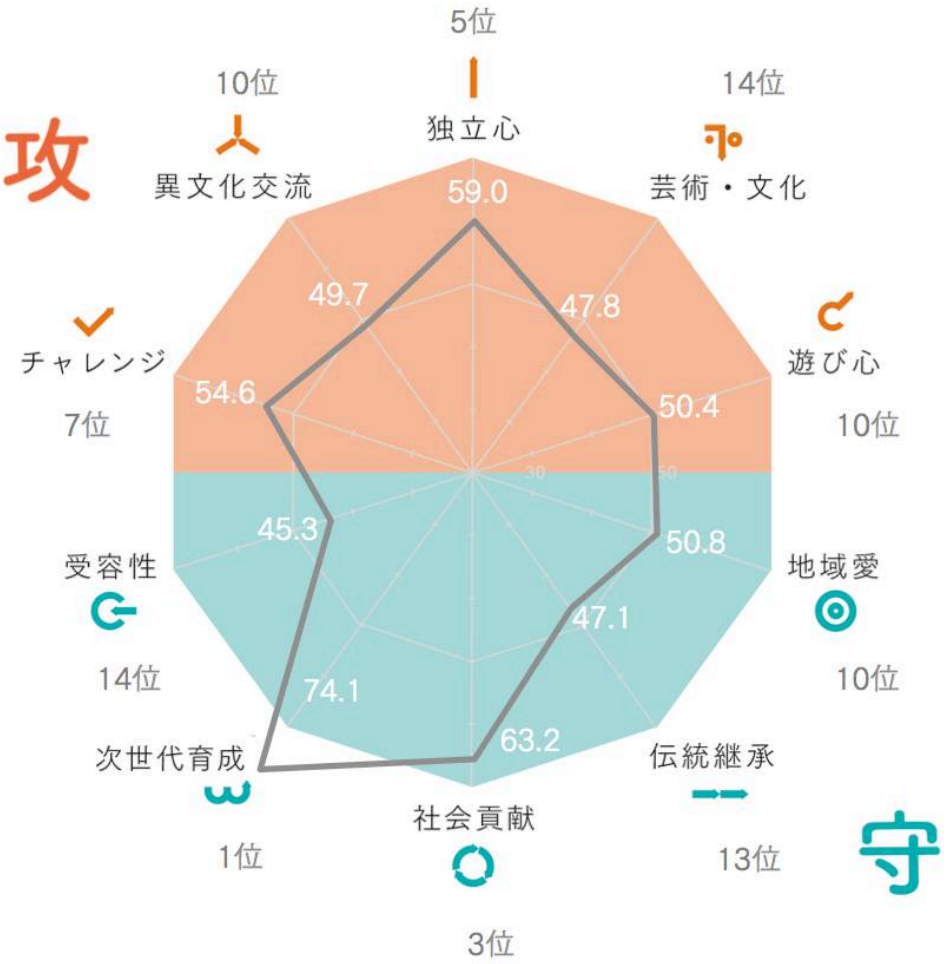
1位	静岡県静岡市	57.8
2位	宮城県仙台市	54.8
3位	京都府京都市	53.0
3位	兵庫県神戸市	53.0
5位	大阪府大阪市	52.5
：		
13位	熊本県熊本市	50.0

地域愛
自分が暮らしている地域が好きだ

1位	兵庫県神戸市	60.8
1位	福岡県福岡市	60.8
3位	北海道札幌市	59.0
4位	宮城県仙台市	58.8
5位	静岡県静岡市	56.8
5位	広島県広島市	56.8
：		
10位	熊本県熊本市	53.8

熊本市の
創造性バランス

創造性スコアを、偏差値にしてみてみましょう。
熊本市は21都市中、総合8位。【攻】の5指標で9位、【守】の5指標で6位と、【守】の側面がやや強い都市です。
【攻】の5指標では、「独立心（5位）」「チャレンジ（7位）」で高い結果となりました。
【守】の5指標では、「次世代育成（1位）」「社会貢献（3位）」で非常に高い結果がでています。
低めの指標は、【攻】では「芸術・文化（14位）」「異文化交流（10位）」、【守】は「受容性（14位）」「伝統継承（13位）」でした。

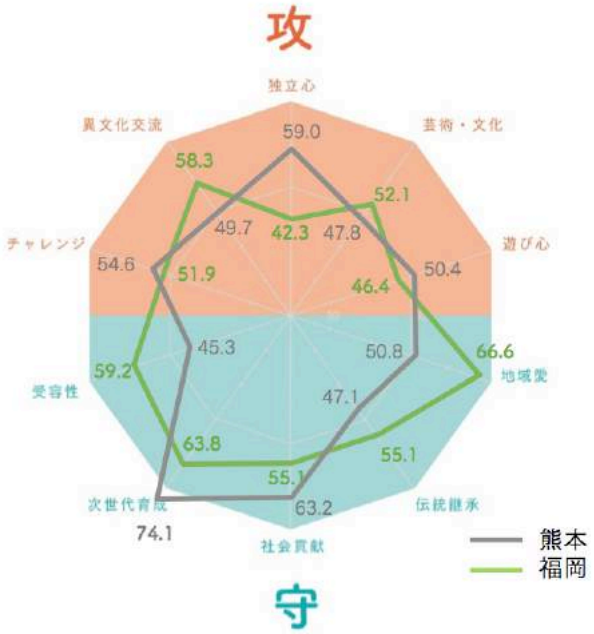


※このグラフはスコアを偏差値に換算して表示しています。

他都市との創造都市バランス比較

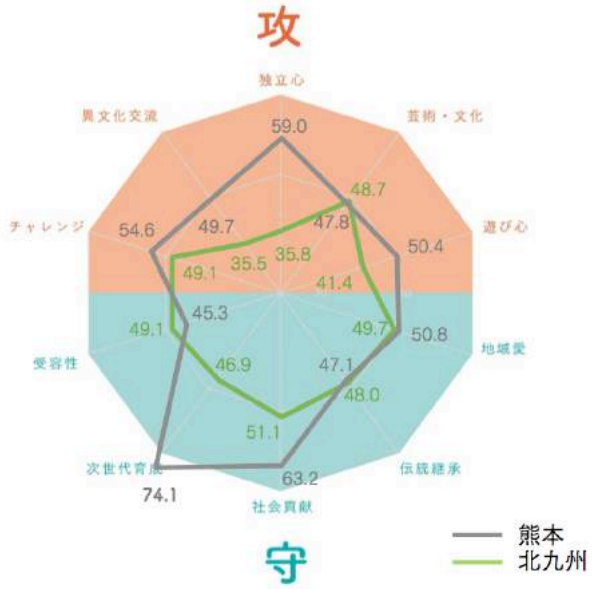
熊本と福岡

熊本市と福岡市でみてみましょう。熊本市の創造性は、【攻】の「独立心」【守】の「次世代育成」「社会貢献」で福岡市を上回る結果となっています。
一方、福岡市では【攻】の「異文化交流」「芸術・文化」、【守】の「地域愛」「受容性」「伝統継承」で熊本市を上回りました。
両都市ともに強い指標は【守】の「次世代育成」「社会貢献」【攻】の「チャレンジ」です。



熊本と北九州

熊本市と北九州市とでみてみましょう。熊本市は【攻】の「独立心」「チャレンジ」「遊び心」、【守】の「次世代育成」「社会貢献」で北九州市を上回る結果となっています。
一方、北九州市は【攻】の「芸術・文化」【守】の「受容性」「伝統継承」で熊本市をやや上回りました。
両都市ともに強い指標は【守】の「社会貢献」でした。また、両都市で弱い指標は、【攻】の「異文化交流」「芸術・文化」、【守】の「受容性」「伝統継承」でした。



※このグラフはスコアを偏差値に換算して表示しています。

創造性を高める都市インフラ

創造都市INDEX総合スコアと都市の生活環境項目の充実度との相関をみてみると、「1位　美術館・博物館」「2位　ナイトスポット（飲み屋・クラブ等）の質と量」「3位　商店街・中心市街地」と続きました。美術館・博物館といった直接的な項目だけではなく、人との接点が生まれる「ナイトスポットの質と量」「商店街・中心市街地」、地域ぐるみで取り組む「防災の施設・制度」といった、「人」とのつながりも都市の創造性を高めるようです。

都市の創造性を高める生活環境項目TOP５

1位　美術館・博物館　(0.4848)
2位　ナイトスポット(飲み屋、クラブ等)の質と量　(0.4403)
3位　商店街・中心市街地　(0.4349)
4位　地震、火事等防災の施設や制度　(0.4266)
5位　寺、神社、史跡などの歴史遺産　(0.4205)

※ ()は相関係数
0.7～：強い相関がある
0.4～≦0.7：中程度の相関がある
0.2～≦0.4：弱い相関がある
0.2以下：ほとんど相関がない

熊本市はどうでしょうか。生活環境項目（インフラ）の充実度をみていきましょう。最も充実度スコアの高い項目は、「農産物、水産物など食材の質や食文化（2位）」でした。古代より農産物が豊かで、有明海の海の幸もあります。追って「山、川、海などの自然環境（5位）」が続きました。
都市の創造性を高める項目として相関のある項目はどうでしょうか。「寺、神社、史跡などの歴史遺産（7位）」が最も高い結果でした。日本三名城の一つ、加藤清正公の「熊本城」があります。追って「ナイトスポットの質と量（10位）」が続きました。
一方、「地震、水害、火事等防災のための施設や制度（14位）」「美術館・博物館（16位）」「商店街・中心市街地（13位）」はやや低い結果となりました。昨年の熊本地震をふまえ、防災を糸口に、地域でアイディアを形やアクションにつなげてみることも一案です。

*1 充実度スコアの算出方法
5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のトップ２ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計％を足し上げて算出

熊本市の生活環境項目（インフラ）　単位：充実度スコア*1

上位

2位	農産物、水産物など食材の質や食文化（54.5）
5位	山、川、海などの自然環境（53.0）
5位	出産・育児支援のための施設や制度（24.5）
7位	寺、神社、史跡などの歴史遺産（38.5）
8位	日用品の価格、物価（35.3）
9位	景観、まちなみ（36.3）
10位	ナイトスポット（飲み屋、バー、クラブ、ディスコ等）の質と量（29.8）
10位	治安、犯罪防止のための施設や制度（27.5）

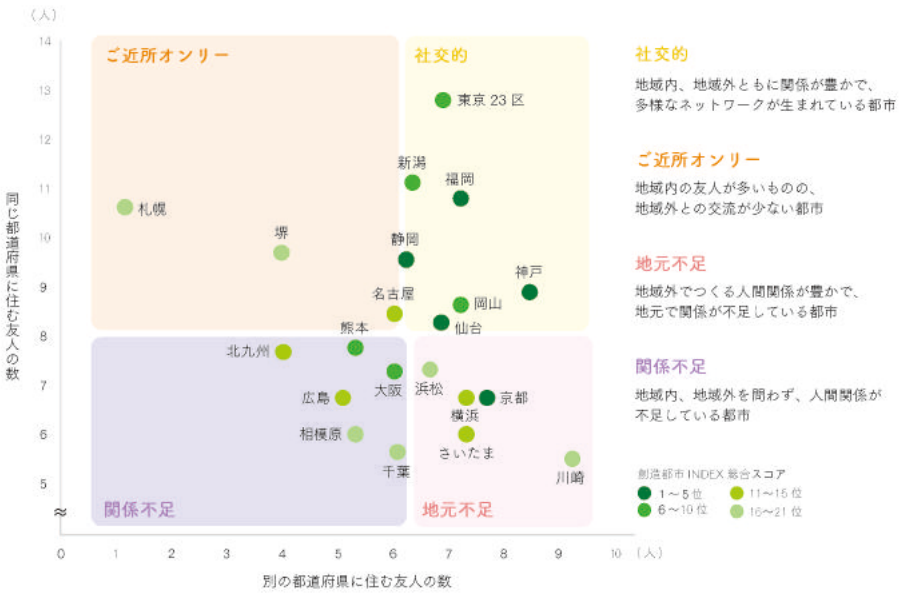
下位

21位	働き口・求人の質や量（10.8）
21位	電車、バスなどの公共交通インフラ（14.3）
21位	道路などの自動車交通インフラ（18.5）
21位	図書館（33.3）
20位	創作・芸術活動の機会や支援制度（9.0）
20位	お祭り、イベント（28.0）
19位	国際性、外国人の受け入れ（12.5）
19位	地域活動（ボランティアやまちづくりの活動）の機会や支援制度（15.3）
19位	買い物ができる店舗の質と量（39.0）
18位	地域（お住まいの市区町村）の知名度（27.5）
18位	公民館、コミュニティセンターなどの交流施設（31.0）
16位	美術館・博物館（27.3）
14位	地震、水害、火事等防災のための施設や制度（19.0）
13位	商店街・中心市街地（24.8）

創造性を高める市民ネットワーク

都市の創造性は友人の数だけでなく、近距離・遠距離・異性・異世代など、住民の多様なネットワークと関連性があることがわかっています。「同じ都道府県に住む友人の数」を縦軸、「別の都道府県に住む友人の数」を横軸にマッピングし、4つに分類しました。
熊本市のネットワークは「関係不足」。地域内、地域外を問わず、人間関係が不足している都市に位置します。

ネットワークの距離からみる21大都市分類



熊本市の「総友人数」は、21都市中16位。ネットワークの特徴としては、「日常的に会ったり、連絡をとっている家族・親族の数（1位）」と、身近な人のネットワークが多い一方、「友人」は同じ都道府県内、別の都道府県とも、やや少なめの結果となりました。グループや団体に所属という形でのネットワークが強いのも、熊本市の特徴といえるでしょう。
今後は、ゆるやかに地域内、地域外のつながりを高めていくことが、創造性を高めるヒントとなりそうです。

※ここでの友人とは、年上、年下を問わず、継続的なつきあいがあり、あなたの生活にかかわりのある知人としています。

熊本市のネットワーク　単位：人数（人）

上位

1位	日常的に会ったり、連絡をとっている家族・親族の数（4.7）
1位	所属している仕事・勉強関連のグループの数（2.5）
1位	所属しているボランティアや地域活動、まちづくり活動のグループの数（0.6）
3位	所属している趣味・スポーツ・娯楽のグループの数（1.2）
4位	異性の友人の数（5.2）
7位	人生や仕事の相談ができる、サポートを受けられる友人の数（3.2）
8位	年齢が10歳以上離れた友人の数（2.7）

下位

16位	総友人数（13.2）
16位	友人のうち、別の都道府県に住む友人の数（5.4）
13位	過去に交際（おつきあい）したことのある人の数（4.6）
12位	Facebook等、SNSでつながっている友人の数（SNSをやっていない方は0）（27.1）
12位	外国人の友人の数（0.5）

その他 熊本市の特徴

21都市の行動、お金の使い方、時間、愛着についても調べてみました。熊本市をみていきましょう。
行動面では、「恋人とのデート（5位）」「散歩、ウォーキング、ジョギング（6位）」が上位となりました。お金面では「通信にかけるお金」が高いようです。時間の使い方では、「家族と過ごす時間」が上位、インターネットの利用時間は少なめのようです。愛着面では「精神的に健康である」が高い一方、都市への生活の満足、愛着が課題です。

行動　単位：年（回）

上位

5位　恋人とのデート（12.37）
6位　散歩、ウォーキング、ジョギング（48.12）
7位　海、山、川等、自然の中でのレジャー（2.86）
7位　芸術、写真、デザイン、ものづくりなどの創作活動（9.50）
11位　公園への訪問（小規模な地域の公園から大規模な自然公園まで含む）（13.66）
11位　お祭り、イベントへの参加（1.75）

下位

19位　ボランティア・まちづくり・地域活動の参加（1.57）
18位　スポーツクラブ・ジム・運動施設での運動（10.17）
17位　演劇、音楽、映画などの芸術鑑賞（3.37）
16位　寺、神社、歴史文化施設の訪問（2.27）
16位　図書館の訪問（6.44）
16位　自宅外での食事（37.43）
14位　美術館・博物館の訪問（1.32）

お金　単位：一ヶ月あたり（円）

上位

5位　通信にかけるお金（電話、携帯電話、インターネットなど）（10,373）
7位　健康・美容にかけるお金（4,991）

下位

18位　医療（健康診断・予防を含む）にかけるお金（3,437）
17位　内装・インテリア・家電など住まいにかけるお金（3,060）
17位　知人・友人・恋人との交際にかけるお金（飲食を含む）（7,223）
16位　外食にかけるお金（9,074）

時間　単位：一日あたり（H）

上位

3位　1日（平日）の家族と過ごす平均時間（睡眠時間は含まず）（3.72）
4位　1週間の仕事をする平均日数（4.17）
4位　1日の平均睡眠時間（6.24）
5位　1日の新聞、雑誌、書籍を読む平均時間
（インターネット上の情報閲覧は含まず）（0.78）
9位　1日（休日）の家族と過ごす平均時間（睡眠時間は含まず）（7.04）

下位

19位　1日のプライベートでのインターネット平均利用時間
（仕事での利用は含まず）（2.18）
14位　1日の平均労働時間（6.46）

愛着　単位：愛着スコア *2

上位

1位　私は現在、精神的に健康である（44.5）
4位　私は現在の仕事に満足している（32.3）

下位

20位　私は現在の仕事で、社会（地域、日本、世界）に利益をうみだしている（22.3）
19位　私は現在の仕事で、所属している組織（会社、役所等）に利益をうみだしている（30.3）
17位　私は現在の仕事に愛着がある（34.8）
16位　私は現在住んでいる都市での生活に満足している（55.0）
14位　私は現在住んでいる都市に愛着がある（60.5）

*2 愛着スコアの算出方法
5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のトップ２ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計％を足し上げて算出

あとがき

平成28年熊本地震で被災された皆さまには、心より御見舞い申し上げます。「創造都市INDEX」は熊本地震の発生より前に行っている調査ですが、「独立心」「次世代育成」「社会貢献」の気概が、もともと熊本市にあることがわかる結果でした。今後の復興を心よりお祈りいたします。

共同研究先募集

「創造都市INDEX」を活用した共同研究や情報発信などございましたら、お気軽に下記担当までご連絡ください。

issue+design　創造都市INDEX　小菅・竹井
TEL：080-8052-1543
E-Mail :info@issueplusdesign.jp
HP：http://issueplusdesign.jp